

NEWS LETTER

2022/10

vol.14

おしらせ号

CONTENTS

- ・ヒューマンライフシンポジウム2022を開催します
- ・育児休業を取得しましょう

ヒューマンライフ シンポジウム2022

未来へつなぐメッセージ

【第1部】 基調講演

共に生きるとは何か

— 難民の声、家族の歴史から考えた多様性 —

認定NPO法人Dialogue for People副代表
／フォトジャーナリスト

やすだ なつき

安田菜津紀氏



【第2部】 トークセッション

SDGs×地域×ジェンダー

茨城大学 人文社会科学部 准教授
よこ みぞ **横溝** たまき **環氏** (モデレーター)

認定NPO法人Dialogue for People副代表
／フォトジャーナリスト
やすだ なつき **安田菜津紀氏** (ゲストスピーカー)

常盤大学・常盤短期大学 学長
とみた けいこ **富田 敬子氏** (ゲストスピーカー)



日時

令和4年10月9日(日) 開演14:00～15:40
※開場は13:30

会場

水戸市役所本庁舎4階 (水戸市中央1-4-1)

募集人数

会場 / 50人 (定員を超えた場合抽選)
オンライン / 300人 (定員になり次第締切)

申込み

会場参加 / 9月16日(金)まで
オンライン参加 / 9月28日(水)まで

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全てオンライン形式で行う場合があります。

参加無料



<問合せ先>

水戸市男女平等参画課
電話番号：029-226-3161

— オンライン参加の申込みはこちらから

未来へつなぐメッセージ

ヒューマンライフシンポジウム 2022

◆基調講演「共に生きるとは何か―難民の声、家族の歴史から考えた多様性―」

認定NPO法人Dialogue for People副代表／フォトジャーナリスト ^{やすだ なつ き} 安田菜津紀 氏

◆トークセッション「SDGs ×地域×ジェンダー」

モデレーター ^{よこみぞ たまき} 横溝 環 氏

ゲストスピーカー ^{やすだ なつ き} 安田菜津紀 氏・^{とみた けいこ} 富田 敬子 氏

安田菜津紀

1987年神奈川県生まれ。認定NPO法人Dialogue for People（ダイアログフォーピープル/D4P）フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に「写真で伝える仕事―世界の子どもたちと向き合って―」（日本写真企画）、他。上智大学卒。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。



横溝 環

茨城大学人文社会科学部准教授、国際コミュニケーション博士。専門は異文化コミュニケーション、多文化関係学。著書に「フェイス相互作用理論」がある。国籍・民族に限らずジェンダー、障がいの有無、SOGI、世代など様々な属性の人々が共存する社会を多文化と捉え、「多文化社会における主観的格差」「多様な学びの場」に関する研究を、関係流動性、準拠集団における承認・包摂、社会変革の抑制・促進要因といった観点から展開している。実践活動としては、地域日本語教室の開催、小中学校の取り出し授業の支援を自治体・地域ボランティア・学生と共に行っている。



富田（大崎）敬子

常磐大学・常磐短期大学学長、全国大学実務教育協会理事、厚生労働省社会保障審議会人口部会委員。茨城県水戸市生まれ。東京女子大学文理学部社会学科卒業。米国ジョージタウン大学大学院人口学修士課程修了。米国フォーダム大学大学院社会学博士課程修了。社会学博士。1988年、ニューヨークの国連経済社会分析局入職。バンコクの国連アジア太平洋地域経済社会委員会勤務を経て、2009年よりニューヨークの国連経済社会局統計部次長を務めた。その間、タイ国マヒドン大学人口社会研究所客員研究員を兼任。現在も、国連国際人口移動統計専門家グループのメンバーを務める。2019年4月より現職。



お申込み 方法

会場参加を希望する方は、9月16日（金）までに、はがきまたはEメール（danjyo-kouza@city.mito.lg.jp）に、住所、氏名、電話番号を記入し、水戸市男女平等参画課（〒310-0063 水戸市五軒町1-2-12 みと文化交流プラザ5階）へ。オンラインでの参加を希望する方は、9月28日（水）までに、いばらき電子申請・届出サービス（表面のQRコード <https://s-kantan.jp/city-mito-ibaraki-u/>）から。

令和4年度 ヒューマンライフシンポジウム 2022 のお申込み・お問合せは

水戸市男女平等参画課

〒310-0063 水戸市五軒町1-2-12 みと文化交流プラザ5階 TEL：029-226-3161



育児休業・出生時育児休業を取得しましょう

育児休業・出生時育児休業は、男女問わず取得することができます。
夫婦で協力して育児をするため積極的に取得しましょう。

■本学の育児休業制度

対象者	教職員（期間が定められている教職員で、申出時点で、子が1歳6か月を経過する日までに労働契約期間が満了し、更新されないことが明らかな者、及び労使協定により、対象者から除外することとされた者については対象外となります。）
期間	常勤教職員：子が3歳に達する日（3歳の誕生日の前日）までの間の教職員が希望する期間 非常勤教職員：原則子が1歳に達する日（1歳の誕生日の前日）までの間の教職員が希望する期間 ※育児休業期間は変更が可能です。ただし、休業開始予定日の繰り上げと休業終了予定日の繰り下げは、各1回に限ります。
申出先・期限	原則休業の1か月前までに所属の総務担当係に申し出てください。 （休業開始予定日の繰り上げについては1週間前まで）
回数	分割して2回取得可能。保育所等へ入所ができない場合等、特別な場合は2回を超えて取得可能。

■本学の出生時育児休業制度（令和4年10月1日施行）

対象者	教職員（期間が定められている教職員は、申出時点で、出生後8週間を経過する日の翌日から起算して6か月を経過する日までに労働契約期間が満了し、更新されないことが明らかな者、及び労使協定により、対象者から除外することとされた者については対象外となります。）
期間	原則として、子の出生の日から起算して8週間を経過する日の翌日までのうち4週間（28日）以内 ※出生時育児休業期間は変更が可能です。ただし、休業開始予定日の繰り上げと休業終了予定日の繰り下げは、各1回に限ります。
申出先・期限	原則休業の2週間前までに所属の総務担当係に申し出てください。 （休業開始予定日の繰り上げについては1週間前まで）
回数	分割して2回取得可能。（まとめて申し出ることが必要）

■育児休業・出生時育児休業には、雇用保険からの給付金の支給や社会保険料免除があります

育児休業給付・出生時育児休業給付

育児休業・出生時育児休業を取得し、受給資格を満たしていれば、子が1歳に達する日の前日（1歳の誕生日の前々日）まで原則として休業開始時の賃金の67%（180日経過後は50%）給付金を受給することができます。

～実際、どのくらいもらえるの？～

（例）1か月休業した場合：

休業開始前（産前産後休暇を取得した場合はその開始前）6か月間の賃金（総支給額）の合計を180で割った金額×支給日数（30日）×支給率を目安としてください。ただし、1か月あたりの支給上限額を越える場合は、一律上限額までの支給となります。

・上限額（支給率67%） 305,319円
（支給率50%） 227,850円（R4.8.1時点 毎年8月1日に更新される場合があります。）

※父母が同時期に育児休業を取得した場合でも、父母ともに育児休業基本給付金を受給することができます。

育児休業・出生時育児休業期間中の社会保険料の免除

その月の末日が休業期間中である場合、また、休業開始月中に14日以上休業を取得した場合、社会保険料(※)が免除されます。なお、賞与の保険料免除は、支給月の末日を含んだ1か月を超える休業の取得が必要です。※給与明細の、「共済短期（健康保険）」、「介護掛金（介護保険）」、「退職等年金」、「厚生年金」が該当します。雇用保険料は、その月に給与支給がない場合は負担はありません。

■相談窓口を設けています



ダイバーシティ推進室では、教職員の仕事と育児などの相談を受け付けています。

○ダイバーシティ推進室HP > 相談窓口 <https://www.ibaraki.ac.jp/diversity/consultation/index.html>

本学は育児休業等の申出をしたこと又は取得したことを理由として不利益な取扱いをすることはありません。
また、妊娠・出産、育児休業等に関するハラスメント行為を許しません。

○ハラスメント相談窓口 人事労務課 (TEL: 029-228-8016) または各部署のハラスメント相談員
<https://www.ibaraki.ac.jp/staff/audit/index.html>

男性が育児休業を取得するメリット

夫のメリット……子どもと一緒に過ごす時間の確保、育児・家事スキルの向上、これまでの業務の進め方を見直すきっかけ、時間管理能力・効率的な働き方が身につく

妻のメリット……育児不安やストレス軽減、就労継続・昇進意欲・社会復帰への意欲の維持

職場のメリット……仕事の進め方・働き方を見直すきっかけ、職場の結束が強まり「お互い様」でサポートしあう関係構築（育児休業だけでなく、病気による入院や介護休業等で不在になる可能性も）、雇用環境の改善による離職率の低下・応募者の増加

～育児休業取得の声～

茨城大学ロールモデル集「Diversity & Inclusion」より▶



少しでも多く子供の成長する姿を見られたらいいなと思って取りました。育児って、本当にやってみないとわからないことも多くて、こんなに大変なものだったのかと思いました。

仕事がスムーズに回るかなという不安はありましたけど、思いのほか、普通に回っていたようで、気にしすぎなんだなと思いました。収入も漠然と思っていたよりは減らなかったです。

子供のお世話はもちろん、産後のケアや女性のキャリア形成のためにも、男性に家事や育児を担ってもらいたいですね。



■育児休業以外の両立支援制度もご利用ください



本学の両立支援制度はこちらからご覧いただけます。

○ダイバーシティ推進室HP > 両立の支援 <https://www.ibaraki.ac.jp/diversity/worklife/index.html>

妊娠・出産・育児

	妊娠	出産予定日の6週間前	出産	出産後2週間	出産後8週間	1歳	3歳	小学校就学	中学校就学
女性	時間外・休日・深夜労働・変形労働時間制の免除								
女性	保健指導・健康診査 ※								
女性	休息、補食のための休憩								
女性	通勤緩和 ※								
女性		産前休暇	産後休暇 * 産後8週間を経過する日まで						
男性			配偶者出産休暇						
男性		配偶者出産育児休暇	* 産後8週間を経過する日まで						
女性・男性			出生時育児休業						
女性・男性			育児休業 * 非常勤教職員は子が1歳に達するまで						
女性・男性			保育時間						
女性・男性			子の看護休暇						
女性・男性			育児短時間勤務						
女性・男性			早出遅出勤務						
女性・男性			時間外労働及び休日労働の免除						
女性・男性			時間外労働の制限						
女性・男性			深夜労働の制限						

* このほか、共済組合、雇用保険、託児支援制度、その他の事務手続きについても掲載しています。

* 各種手続は所属の総務担当係を通して行ってください。

ダイバーシティ推進室

TEL : 029-228-8237 Email : diversity_office@ml.ibaraki.ac.jp

